



**U-Reach Japan Inc.**

# WP200

USB ライトプロテクトソースクリエイター

取扱説明書

V1.1



## 製品概要

USB ライトプロテクトソースクリエイター WP200 は、通常の USB メモリに記録されたソースデータをライトプロテクト形式に変換しながらコピーするスタンドアロン機器です。ライトプロテクトおよび、CD-ROM 領域としてコピーしたデータは、ユーザが削除または変更することはできません。また、PC を使用せずコピーを行うため、ウイルス混入のリスクを軽減できます。

コピー元(ソースデータ)

FAT32 形式でフォーマットされた USB メモリをご使用ください。



コピー先(ターゲット)

W-mode に対応した  
USB メモリをご使用ください

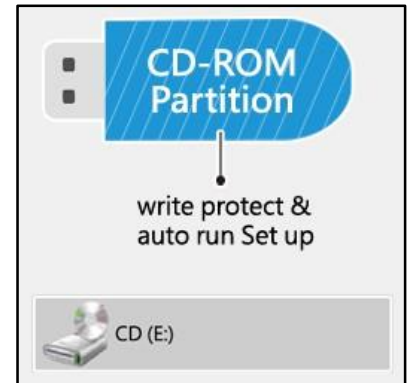
## 機能一覧

機能	説明
1. Make USB-CD (CD-ROM 領域作成)	USB メモリの全領域を CD-ROM 領域に変換しながらコピーを行います。PC 接続時は CD-ROM ドライブとして認識されます。
2. Make USB+CD+USB (CD-ROM 領域+通常の USB 領域作成)	ソースデータの容量分のみを CD-ROM 領域化し、残りの容量を通常の読み書き可能な USB 領域として確保します。PC 接続時は CD-ROM ドライブとリムーバブルディスクの2つのドライブとして認識されます。
3. Set Read Only (USB 全体をライトプロテクト)	USB メモリの全領域をライトプロテクトします。PC 接続時は通常のリムーバブルディスクとして認識されますが、一切のデータの書き込みや削除が行えません。
4. Check USB Type (USB 情報)	USB メモリの情報を表示します。CD-ROM 領域化された容量と通常の USB 領域の容量の割合が確認できます。
5. Erase USB (消去)	CD-ROM またはライトプロテクトされた USB メモリのデータを消去します。消去後は PC 等でフォーマットすると通常の USB メモリとして使用できます。
6. Utilities (ユーティリティ)	6.1 System Info (システム情報). システム情報 (型番、ファームウェアバージョン) を表示します。
	6.2 System Update (システムアップデート) ファームウェアのアップデートを行います。

# 機能詳細

## 1. Make USB-CD (CD-ROM 領域作成)

USB メモリの全領域を CD-ROM 領域に変換しながらコピーを行います。PC 接続時は CD-ROM ドライブとして認識されます。



## 2. Make USB-CD+USB

### (CD-ROM 領域 + 通常の USB 領域作成)

ソースデータの容量分のみを CD-ROM 領域化し、残りの容量を通常の読み書き可能な USB 領域として確保します。PC 接続時は CD-ROM ドライブとリムーバブルディスクの2つのドライブとして認識されます。



## 3. Set Read Only (USB 全体をライトプロテクト)

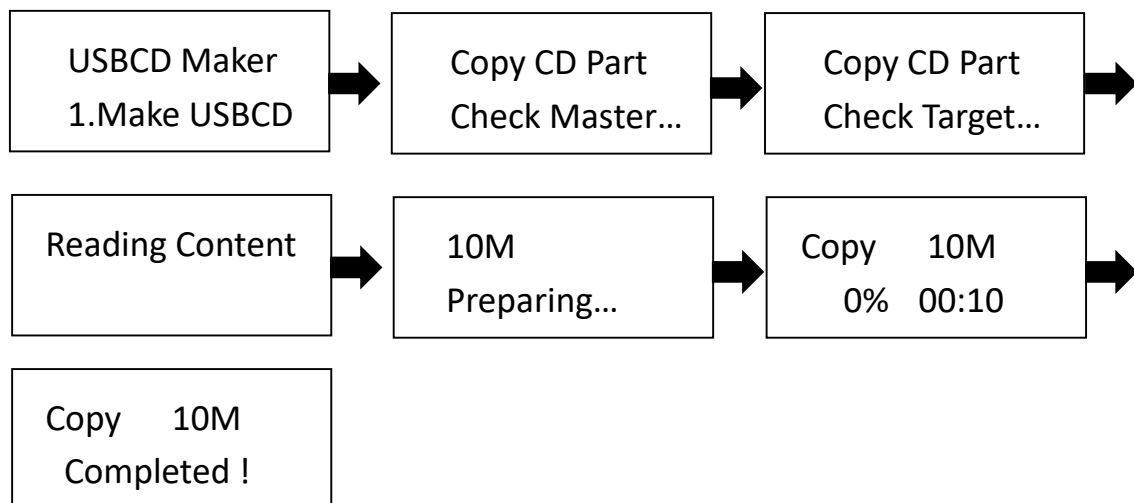
USB メモリの全領域をライトプロテクトします。PC 接続時は通常のリムーバブルディスクとして認識されますが、一切のデータの書き込みや削除およびフォーマットが行えません。

本機能はすでにデータの入った USB メモリに対してライトプロテクト処理のみを行います。



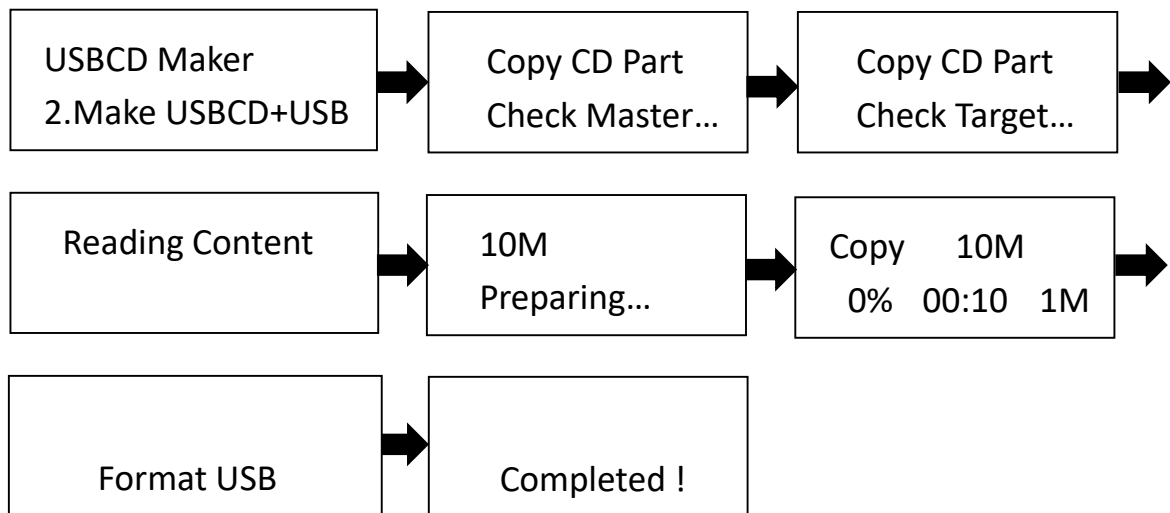
## CD-ROM 領域の作成方法

- ◆ マスターデータが入った USB メモリをソースポートに差し込みます。W-mode 非対応の USB メモリも使用可能です。  
※マスターの USB メモリは FAT16 または FAT32 形式でフォーマットされている必要があります。
- ◆ W-Mode に対応した USB メモリをターゲットポートに差し込みます。W-mode に対応していない USB メモリは使用できませんのでご注意ください。  
※すでに CD-ROM 領域を作成済みまたはライトプロテクトを実施した USB メモリを再利用する場合は、必ずメニュー5. Erase USB を実施して全てのデータを消去してください。
- ◆ メニュー[1. Make USB-CD]を選択して OK ボタンを押すと、マスターデータの CD-ROM 領域化を行いつつコピーが開始されます。  
※マスターデータの容量が少ない場合、パーセンテージが正常に反応せず、0%のまま進行する場合がありますが、最終的にパーセンテージが 100%まで進み、Completed が表示されればコピーは正常に完了しています。
- ◆ Step 4. WP200 will copy the content from Input Port to Output, and set the target as a CD-ROM partition USB.



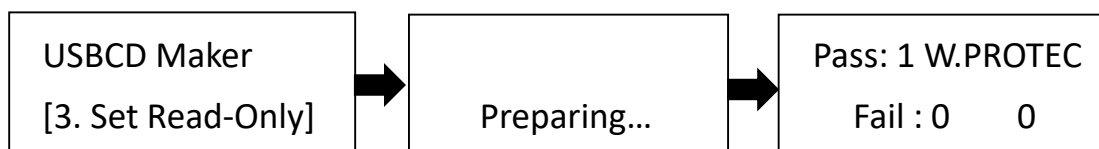
## CD-ROM+通常領域の作成方法

- ◆ マスターデータが入った USB メモリをソースポートに差し込みます。W-mode 非対応の USB メモリも使用可能です。  
※マスターの USB メモリは FAT16 または FAT32 形式でフォーマットされている必要があります。
- ◆ W-Mode に対応した USB メモリをターゲットポートに差し込みます。W-mode に対応していない USB メモリは使用できませんのでご注意ください。  
※すでに CD-ROM 領域を作成済みまたはライトプロテクトを実施した USB メモリを再利用する場合は、必ずメニュー5. Erase USB を実施して全てのデータを消去してください。
- ◆ メニュー[2. Make USBCD+USB]を選択して OK ボタンを押すと、マスターデータの CD-ROM 領域化を行いながらコピーが開始されます。コピー完了後、残りの領域が自動的に FAT32 フォーマットされ、処理が完了します。  
※マスターデータの容量が少ない場合、パーセンテージが正常に反応せず、0%のまま進行する場合がありますが、最終的にパーセンテージが 100%まで進み、Completed が表示されればコピーは正常に完了しています。



## ライトプロテクト USB の作成方法

- ◆ 予めデータの入った W-Mode 対応 USB メモリを用意し、WP200 のターゲットポートに差し込みます  
※ソースポートではライトプロテクト処理は実行されません。
- ◆ メニュー[3. Set Read-Only]を選択し、OK ボタンを押すとライトプロテクト処理が開始されます。
- ◆ ライトプロテクト処理は数秒で完了し、連続して処理を行うことが可能です。  
※処理完了後、×ボタンでメニューに戻らず USB メモリを差し込むと、ライトプロテクト処理が開始されてしまいますので、処理を終了させる場合は必ず×ボタンでメインメニューに戻って下さい。

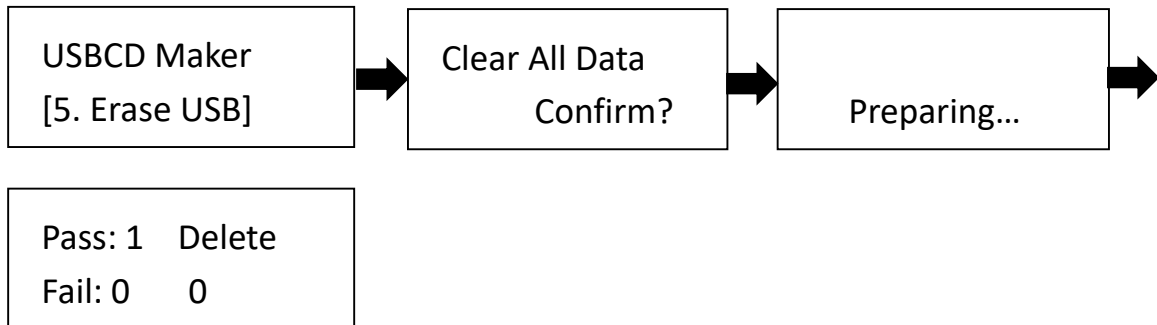


### ご注意

処理完了後、×ボタンでメニューに戻らずターゲットポートに USB メモリを差し込むと、ライトプロテクト処理が開始されてしまいますので、処理を終了させる場合は必ず×ボタンでメインメニューに戻って下さい。

## ライトプロテクトの解除と消去

- ◆ CD-ROM 化、またはライトプロテクト処理した USB メモリを WP200 のターゲットポートに接続します。
- ◆ メニュー [5. Erase USB]を選択し、OK ボタンを押すと、消去が開始されます。
- ◆ USB メモリによっては 1 回の消去でデータが消去されない場合がありますので、その場合は複数回消去を行ってください。



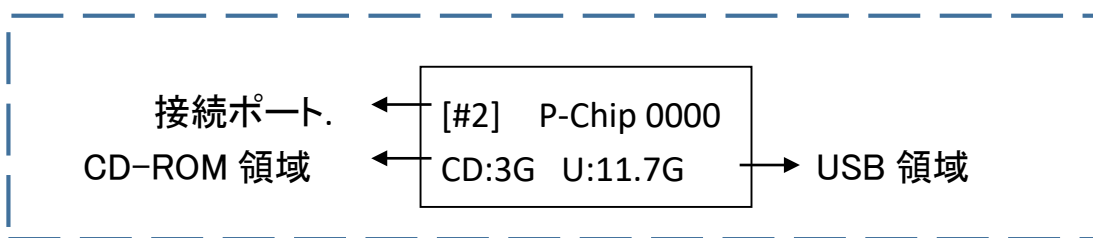
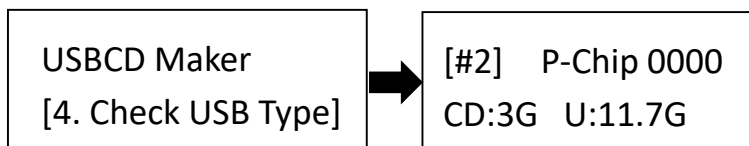
### ご注意

CD-ROM 化およびライトプロテクトの解除のみを行うことはできません。データも消去されますので、大事なデータは消去前に必ずバックアップを取るようお願いいたします。



## USB 情報を見る

- ◆ USB メモリをソースまたはターゲットポートに接続します。
- ◆ メニュー [4. Check USB Type]を選択し、OK ボタンを押すと USB の情報が表示されます。



1. CD-ROM 化およびライトプロテクトを行っていない場合

[#2] P-Chip 0000 U:14.7G

2. CD-ROM 化を行った場合

[#2] P-Chip 0000 CD:3G

3. CD-ROM 領域+USB 領域がある場合

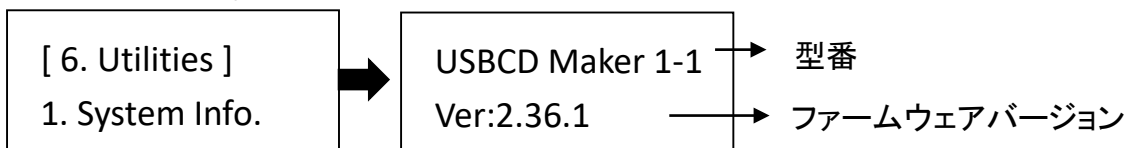
[#2] P-Chip 0000 CD:3G U:11.7G

4. ライトプロテクト処理を行った場合

[#2] P-Chip 000 CD:0M U:14.7G

## システム情報とファームウェアアップデート

- ◆ メニュー [6.1 System Info.]を選択し、OK ボタンを押すとシステム情報が表示されます。



- ◆ ファームウェアアップデート

1. 最新のファームウェアがある場合、PC でファームウェアをダウンロードし、USB メモリにファームウェアファイルをコピーします。

### ご注意

ファームウェアファイルは必ず USB メモリのルートフォルダにコピーしてください。

2. ファームウェアファイルをコピーした USB メモリを WP200 のソースポートに接続します。
3. メニュー [6.2 System Update]を選択し、OK ボタンを押すとファームウェアのアップデートが開始されます。アップデートが完了したら、電源をオフにし、5 秒程度待ってから電源をオンにしてください。

### ご注意

ファームウェアは弊社が必要に応じて U-Reach の Web サイトに公開します。弊社以外から提供されたファームウェアについては動作保証外となりますのでご注意ください。

# FAQ

Q	一度 CD-ROM 化またはライトプロテクト処理を行った USB メモリは再利用可能ですか？
A	再利用可能です。メニュー[5.Erase USB]を実行すると CD-ROM 化およびライトプロテクトが解除され、データが全て消去されますので、再びフォーマットしてからご使用ください。 ※頻回に CD-ROM 化→解除を行うと、まれに CD-ROM 化が解除されなくなる場合があります。

Q	ライトプロテクトされた USB メモリからデータをコピーすることは可能ですか？
A	可能です。CD-ROM 化およびライトプロテクトは USB メモリに対して書き込みや削除ができなくなるのみで、データを開いたり、デスクトップ上にコピーすることは可能です。

## エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	考えられる原因
Bad Master! (マスター不良)	マスターの USB メモリが FAT16/32 形式以外でフォーマットされている(NFTS、HFS+等)
	すでに CD-ROM 化されている USB メモリをコピーしようとしている
	マスターの USB メモリが故障している
Target Not Empty!	ターゲットポートに接続した USB メモリ内にすでに CD-ROM 化された領域が存在する
	ターゲットポートに接続した USB メモリにライトプロテクトがかかっている
Target Not Enough!	ターゲットポートに接続した USB メモリがソースの USB メモリより容量が少ない

## 製品仕様

型番	WP200	
ターゲット数	1:1	
基本仕様	動作タイプ	スタンドアロン
	表示言語	英語
	LCD ディスプレイ	2x16 バックライト付き LCD ディスプレイ
	LED	2 LED インジケータ (赤/緑) /ポート
	操作ボタン	4 プッシュボタン (▲, ▼, OK, ESC)
機能	1. Make USBCD	USB メモリを CD-ROM 化します
	2. Make USBCD+USB	CD-ROM 領域と通常の USB 領域を作成します
	3. Set Read-Only	USB メモリをライトプロテクト処理します。
	4. Check USB Type	USB の情報を表示します。
	5. Erase USB	CD-ROM 化およびライトプロテクトを解除し、データを消去します。
互換性	対応メディア	W-mode 対応 USB メモリ
	対応フォーマット	FAT16/32
	対応 OS	Windows
その他仕様	電源	5V 2A DC アダプター
	温度	動作温度: 5° C ~ 45° C
		保管温度: -20° C ~ 85° C
	湿度	動作湿度: 20% ~ 80%
Storage Humidity: 5% ~ 95%		

※仕様は予告なく変更する場合があります。